

高齢者の消化器疾患に対する手術予後の実態調査

1. 研究の対象

高知県内の市町村を保険者とする国民健康保険の被保険者・被扶養者、および後期高齢者医療制度の被保険者の方で、2016 年度から 2023 年度の間全身麻酔を用いた消化器手術を受けた 65 歳以上の方

2. 研究目的・方法

目的

本研究は高知県の「DPC データ、レセプト情報（診療報酬明細書、調剤報酬明細書）、介護保険給付実績情報及び介護認定申請に関する情報（認定調査票、主治医意見書等）、国保データベースシステム情報」を用いて、消化器外科手術後の生活状況を、入院の別、生存状況、介護認定状況などの視点から体系的に把握することを目的としています。本研究で得られた成果は、高知県における手術療法の効果を検討し、手術に関する意思決定を行う上で参照すべきデータになるとともに、消化器外科治療の適正化につながると考えられます。

方法

高知県は医療費適正化を目的として県内市町村の上記データ等を用いた医療費分析を一般社団法人リージョナル・データ・サイエンス（第 16 号高知大学発ベンチャー）に委託しています。高知大学が公衆衛生に関する研究のために、それらのデータを利用することに関して、高知県健康政策部・高知大学医学部間で覚書を締結しており、本研究はその目的に沿って行われます。

手術日を起点として手術施設での入院日数、転院がある場合は転院後の入院日数、介護保険給付の状況を連続的に評価し、患者因子である年齢や性別、疾患要因である診断名、術式との関連を統計的に明らかにします。研究実施期間は、倫理申請の承認を受けてから 2027 年 12 月 31 日までを予定しています。

3. 研究に用いる情報の種類

本研究では、年齢、性別、手術日、病名、手術術式、処方薬剤、入院期間、介護保険の利用状況などの情報を用います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代

理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その際には被保険者番号を基にデータの除外を行います。研究のご了承をいただけない場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部外科学講座外科学（消化器外科）
前田広道
電話：088-8802370

研究責任者：高知大学医学部外科学（消化器外科学） 瀬尾 智